

お知らせ

インターネットを使って、当館への支援の募集を始めました

クラウドファンディングをご存知でしょうか？ ある「志(プロジェクト)」を持った人や団体が資金を集めるため、インターネットを通じて多数の人に比較的小額の資金提供を呼びかけ、プロジェクトを実行する、その資金集めの手段のことです。

昨年の津波や原発事故の災害にあたり、少しでも被災者に支援したいと思う人は多く、募金に応じたり、義援金を送ったりしました。しかし自分が送ったお金がどのように使われているのかわからないもどかしさがあります。

クラウドファンディングのサイトでの支援募集は、たとえば「陸前高田に図書館を作りたい」とか、「郡山の幼稚園プールの除染をしてあげたい」というように目的が明示されているので、共感できるプロジェクトに支援することができ、お金が有効に使われる満足感が得られます。最近、テレビや新聞にも取り上げられ、新しい寄附文化の入口とも見られています。

プロジェクトは復興支援ばかりでなく、「地域の魅力を掘り起こすフリーペーパーを発行したい」「乙女文楽の海外公演を行いたい」「写真展を開催したい」というようなものもあります。

現在、当館は図書館の運営資金を、このクラウドファンディングで募集しております。

演劇・映画の専門図書館として、他にはない多くの貴重な資料を所蔵し、一般に公開する公益性の高い図書館事業の規模を縮小することなく継続して行っていくために支援をお願いいたします。

支援募集は、「READYFOR?(レディフォー)」というサイト上で行っております。

プロジェクト名

「歌舞伎や「寅さん」、大切な日本文化の宝箱を守る。」

9月3日から10月23日までの50日の期間で、200万円が目標金額です。

200万円以上集まった場合のみ、プロジェクトが成立します。

https://readyfor.jp/projects/ootani_tosyokan

是非、このサイトをご覧ください、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

また、ご友人などお知り合いの方にも、お広めいただければ、幸いです。



新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

松竹系 8月公演資料

..... 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『桜姫東文章』	○	○	○	○
	『慥紅葉汗顔見勢 伊達の十役』	○	○		
ル テアトル銀座	『ウサニ』	○	○	○	
松竹座(大阪)	『少年たち 格子無き牢獄』 & SHOW TIME!			○	
南座(京都)	山田洋次の軌跡 フィルムよ、さらば			○	○
地方巡業	『初薨』	○		○	○

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

他社公演資料

あうるすぽっと	7月	『蒼い妖精とピノッキオ』プログラム、台本 『ヘンリー六世ⅠⅠⅠ・リチャード三世』プログラム、台本
アトリエ乾電池	7月	『招待されなかった客』プログラム
オーチャードホール	7月	『カム・フライ・アウェイ』プログラム
大阪新歌舞伎座	7月	『男の花道』プログラム、台本
	8月	『松井誠・池畑慎之介 八月納涼公演』プログラム
吉祥寺シアター	7月	『みんな豚になる あるいは「蠅の王」』プログラム、台本
劇場MOMO	8月	『Angel 星に歌えば』プログラム
劇団銅鑼アトリエ	8月	『遺骨』プログラム、台本
国立劇場小劇場	7月	『親子で楽しむ日本の音』プログラム 『名曲で知る邦楽の世界』プログラム
	8月	『小学生のための歌舞伎体験教室発表会』プログラム
国立文楽劇場	8月	『第一回坂東薪車の会』プログラム、台本
ザ・スズナリ	7月	『死ぬための友達』プログラム、台本
	8月	『くじけまみれ』プログラム
シアターオーブ	7月	『ウエスト・サイド・ストーリー』プログラム
シアタークリエ	7月	『ええから加減』プログラム
	8月	『ソングス・フォー・ア・ニュー・ワールド』プログラム 『CLUB SEVEN 8th stage!』プログラム
シアターグリーンBOX in BOX THEATER	7月	『月の岬』プログラム
シアターコクーン	7月	『新・幕末純情伝』プログラム
シアタートラム	7月	『千に砕け散る空の星』プログラム
春秋座	7月	『義経千本桜 木ノ下歌舞伎』プログラム
自由劇場(四季)	7月	『ひばり ジャンヌ・ダルク奇蹟の少女』プログラム
Space早稲田	7月	『イロシマ』プログラム、台本
セルリアンタワー能楽堂	8月	『挑む 外伝』プログラム
帝国劇場	7月	『ミュージカル ルドルフ ザ・ラスト・キス』プログラム
	8月	『松本幸四郎 in ラ・マンチャの男』プログラム
俳優座劇場	7月	『日本の面影』プログラム、台本
博多座	8月	『ミュージカル フットルース』プログラム、ポスター
パルコ劇場	7月	『露出狂』プログラム
本多劇場	7月	『いつか見た男達 ジェネシス』プログラム
明治座	8月	『大江戸緋鳥』プログラム

映画資料

..... 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版 FAIRY TAIL フェアリー・テイル・鳳凰の巫女-』					
『映画 ひみつのアッコちゃん』					

(新規登録資料案内 続き)

映画プログラム

- 『トータル・リコール』 『THE GREY 凍える太陽』 『るろうに剣心』
『最強のふたり』 『超絶 学園～未来へのSTEP～』 『アベンジャーズ』
『劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ キュレムVS聖剣士ケルディオ』 『ローマ法王の休日』
『プロメテウス』 『映画ジュエルベット スウィーツダンスプリンセス』
『ROAD TO NINJA - NARUTO THE MOVIE -』 『エイトレンジャー』
『アナザー Another』 『おおかみこどもの雨と雪』 『メリダとおそろしの森』
『あなたへ』 『遊星からの物体X ファーストコンタクト』

演劇雑誌

- 『a a f通信』2012年8月
『あぜくら』平成24年8月号
『文楽通信かわら版』14号
『舞踊芸術』2012年8月号
『Confetti』2012年SEPTEMBER Vol.93
『伝統文化新聞』2012年(75号)
『演劇界』2012年10月号
〔《特集》近松座三十周年 坂田藤十郎が語る、三十年の軌跡/七世中村芝翫を偲んで『京鹿子娘道成寺』
中村福助 《インタビュー》片岡市蔵〕
『花伝』平成24年夏号〔《特集》日本の学術・芸術～この国の「理」を知る〕
『悲劇喜劇』2012年9月号
〔《特集》二〇一二年上半期演劇界の収穫/追悼・山田五十鈴 《掲載戯曲》『天使猫』渡辺えり/『暗い
ところからやってくる』前川知大〕
『邦楽の友』平成24年9月号
『ほうおう』2012年10月号
〔《インタビュー》中村吉右衛門 《特集》OSK日本歌劇団創立90周年記念/新派四季暦 猿翁門下
三人衆が挑む「新派名作撰」のビックリシーン〕
『ジ・アトレ』2012年6月
『上方芸能』2012年9月(185号)〔《特集》「聴く」文化を楽しむ 養う〕
『神奈川芸術プレス』2012年8月-9月Vol.107
『喝采』2012年11月〔《特集》11月公演:ミュージカル「ジェーン・エア」/新派特別公演〕
『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』6号〔《特集》古典芸能研究センター開設10周年記念〕
『国立演芸場公演ガイド』平成24年9月号
『京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所報』2012年6月13号
『日本芸術文化振興会ニュース』平成24年9月号
『日本照明家協会雑誌』2012年8月号
〔《インタビュー》杉浦弘行さん 《特集》多点式タッチパネルを用いた調光卓の開発/女性照明家〕
『日本舞踊』64巻9月号
〔《特集》秘曲・新曲サロン 長唄 玉藻前/舞踊写真教室 舞踊小唄 霊峰富士(下)〕
『大向う』平成24年8月号
『ラ・アルプ』2012年9月号
〔《特集》60周年記念公演「海外名作ミュージカル」3作上演決定! 『ジーザス・クライスト=スーパ
ースター』『ウェストサイド物語』『サウンド・オブ・ミュージック』〕
『SePT倶楽部 information』2012年6月号・8月号
『シアターガイド』2012年10月号
〔《特集》NODA・MAP「エッグ」妻夫木聡&深津絵里&仲村トオル 野田秀樹ほか/騒音歌舞伎「ボ
クの四谷怪談」佐藤隆太&小出恵介 蜷川幸雄&鈴木慶一/「ふるあめりかに袖はぬらさじ」坂東玉三郎〕
『テアトロ』2012年9月号
〔《特集》冒険と挑戦!/シビウ国際演劇祭2012/追悼 近石綏子さん 《掲載戯曲》「ソウルの落日」
芳地隆介/「南北逆曼荼羅」翠羅白/「閑話休題恋曲者」小松幹生〕
『the座』2012年73号〔「芭蕉通夜舟」〕

(新規登録資料案内 続き)

映画雑誌

- 『ドラマ』2012年9月号
〔《掲載シナリオ》『黒の女教師』第1話 山下友弘(企画脚本)大林利江子(脚本)吉澤智子(脚本)池田奈津子(脚本協力) / 『梅ちゃん先生』18週、19週 尾崎将也〕
- 『映画テレビ技術』2012年9月号
〔《特集》映画『鍵泥棒のメソッド』内田けんじ監督インタビュー / BSプレミアムドラマ「高橋留美子劇場」 / EOS C300を使用してのドラマ撮影〕
- 『映画芸術』2012年夏号(440号)〔《特集》映画女優の現在形 / 「かぞくのくに」 / 追悼 新藤兼人〕
- 『映画撮影』2012 Aug No.194
〔《特集》撮影報告:『終の信託』『あなたへ』『シグナル 月曜日のルカ』『アフリカ大サバンナ チーター兄弟 驚きの狩りと絆に迫る』『流 ながれ』『るろうに剣心〕
- 『映画秘宝』2012年10月号
〔《特集》地上最強のソードアクション映画決定戦!! / 『るろうに剣心』 / 『プロメテウス』研究〕
- 『衛星劇場プログラムガイド』2012年9月号
- 『FLIX』2012年5月号
〔《特集》佐藤健 綾野剛 大友啓史監督『るろうに剣心』 / 向井理 / 織田裕二 / 山田孝之 / 松坂桃李〕
- 『キネマ旬報』2012年8月下旬号
〔《特集》「かぞくのくに」人生を映画にする / 闇の奥「ダークナイト ライジング」 / 怪奇と幻想、殺人と探偵 F・F・ Coppola「Virginia / ヴァージニア」〕
- 『キネマ旬報』2012年9月上旬号
〔《特集》高倉健「あなたへ」 / 「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」 / 「るろうに剣心」〕
- 『ムービー・スター』2012年10月号
〔《特集》『glee / グリー』 / 『スーパーナチュラル』 / 『SHERLOCK / シャーロック』〕
- 『NFCニューズレター』2012年8月 - 9月号
〔《特集》議会図書館パカード・キャンパスの視聴覚保存 / 生誕百年映画監督今井正 / シネマの冒険 闇と音楽 / 日活映画の100年 日本映画の100年〕
- 『NFCカレンダー』2012年9月号
- 『日経エンタテインメント!』2012年9月号〔《特集》世界で勝てる日本のエンタテインメント〕
- 『SCREEN』2012年10月号
〔《特集》これから流行る映画・スター大調査 / 「バイオハザードV: リトリビューション」〕
- 『シナリオ』2012年10月号
〔《掲載シナリオ》「天地明察」加藤正人 滝田洋二郎 / 「豚と軍艦」山内久〕
- 『シナリオ教室』2012年9月号
〔《掲載シナリオ》第12回「テレビ朝日21世紀新人シナリオ大賞」受賞作: 大賞『最後の仕事』戸田幸広 / 優秀賞『僕のことを笑う人が好き』金子洋介 / 優秀賞『バック「グラウンド」ミュージック』村本篤信〕
- 『シネ・フロント』2012年8月号
〔《特集》『The Lady アウンサンスーチー ひき裂かれた愛』 / 『いわさきちひろ ~ 27歳の旅立ち』 <対談> 海南友子、小森陽一〕

書籍

個人の方より、マリリン・モンロー関連書籍44冊を寄贈いただきました。今後、数号に渡って、登録した関連書籍を適時ご紹介いたします。

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|----------|
| 『アメリカでいちばん美しい人 マリリン・モンローの文化史』 | 亀井俊介(著) | 岩波書店 |
| 『アメリカという国 女優マリリンと大統領とマフィア』 | アデラ・グレイリー+ミロ・スベリグリオ(著) 八木甫(訳) | イースト・プレス |
| 『偽りのマリリン・モンロー』 | 松本侑子(著) | 集英社 |
| 『インタヴューズ1 マルクスからヒトラーまで』 | クリストファー・シルヴェスター(編) 新庄哲夫[等](訳) | 文藝春秋 |
| 『インタヴューズ2 スターリンからジョン・レノンまで』 | クリストファー・シルヴェスター(編) 新庄哲夫[等](訳) | 文藝春秋 |
| 『Va Va Voom!ヌーディ・キューティの'50s~'60s』 | スティーヴ・サリヴァン(著) 岩館葉子(訳) | 原書房 |
| 『栄光と孤独の女 マリリン・モンロー』 | 中田耕治(著) | ソノブックス社 |
| 『思い出のマリリン・モンロー』 | 大門茂行(著) | 近代文芸社 |

第25回松竹大谷図書館所蔵資料展示

「七代目中村芝翫」展

展示期間：2012年8月31日～9月26日 於：松竹大谷図書館閲覧室

今月の所蔵資料展示は、昨年10月10日に83歳で亡くなった七代目中村芝翫丈を偲んで、関連資料を展示しております。

【七代目中村芝翫プロフィール】

昭和3年[1928]3月、五代目中村福助の長男として誕生。昭和8年11月、四代目中村児太郎を名のり歌舞伎座で祖父五代目中村歌右衛門の『桐一葉』で女童をつとめ初舞台を踏む。昭和16年10月歌舞伎座『仮名手本忠臣蔵九段目』の小浪、『辰駕』の禿で七代目中村福助を襲名。昭和42年4・5月歌舞伎座『助六曲輪菊』の揚巻、『鏡獅子』腰元弥生後に獅子の精、ほかで七代目中村芝翫を襲名。



【七代目中村芝翫主な賞歴】

第11回(昭和33年度)毎日演劇賞、昭和38年度芸術祭奨励賞、昭和42年度芸術選奨大臣賞、名古屋演劇ペンクラブ賞(46、47、58年)、第31回(昭和49年)芸術院賞、平成元年日本芸術院会員、平成元年紫綬褒章、第12回(平成5年)真山青果賞、平成8年人間国宝、第9回(平成11年度)日本映画批評家大賞特別文化賞、平成11年勲三等瑞宝章、平成18年文化功労者、平成22年名誉都民憲章、平成23年正四位・旭日重光章没後追贈

「七代目中村芝翫」関連資料展示一覧

【演劇スチール】

- 一、『桐一葉』演劇スチール(昭和8年[1933]11月歌舞伎座上演)
淀君[素のまま](五代目中村歌右衛門)、女の童紅梅(四代目中村児太郎=七代目中村芝翫)
- 二、『桐一葉』演劇スチール(昭和14年[1939]5月歌舞伎座上演)
淀君(五代目中村歌右衛門)、女の童梅ヶ香(四代目中村児太郎=七代目中村芝翫)
- 三、『仮名手本忠臣蔵 山科閑居の場』演劇スチール(昭和16年[1941]10-11月歌舞伎座上演)
本蔵娘小浪(四代目中村児太郎改め七代目中村福助=七代目中村芝翫)
- 四、『早春賦』演劇スチール(昭和35年[1960]6月歌舞伎座上演)
舎人桜丸(七代目中村福助=七代目中村芝翫)
- 五、『助六曲輪菊』演劇スチール(昭和42年[1967]5月歌舞伎座上演)
三浦屋揚巻(七代目中村福助改め七代目中村芝翫)
- 六、『お江戸みやげ 湯島天神境内の場』演劇スチール(平成13年[2001]4月歌舞伎座上演)
お辻(七代目中村芝翫)
- 七、『保名』演劇スチール(平成15年[2003]1月歌舞伎座上演)
安倍保名(七代目中村芝翫)
- 八、『鐘ヶ岬』演劇スチール(平成22年[2010]9月新橋演舞場上演)
清姫(七代目中村芝翫)
- 九、『杵手鳥孤城落月 城内山里糶庫の場』演劇スチール(平成23年[2011]9月新橋演舞場上演)
正栄尼(六代目中村東蔵)・淀の方(七代目中村芝翫)・豊臣秀頼(三代目中村又五郎)・饗庭の局(三代目中村芝喜松)・大蔵の局(六代目上村吉弥)

【海外公演プログラム】

- 十、西ドイツ公演・ミュンヘン ゲルトナープラッツ劇場プログラム(昭和47年[1972]6月24-25日)
『仮名手本忠臣蔵』塩冶判官(七代目中村芝翫)

【中村芝翫が表紙を飾った演劇界】

- 十一、『演劇界』昭和42年(1967)5月号 『本朝廿四孝』八重垣姫
- 十二、『演劇界』昭和43年(1968)3月号 『八重桐廓嘶 嬬山姥』八重桐
- 十三、『演劇界』昭和48年(1973)5月号 『六歌仙容彩』小野小町
- 十四、『演劇界』昭和49年(1974)11月号 『苜蓿桑門筑紫轅 いもり酒』夕して
- 十五、『演劇界』昭和53年(1978)2月号 『夕霧伊左衛門 廓文章 吉田屋』夕霧
- 十六、『演劇界』平成3年(1991)5月号 『新版歌祭文 野崎村』久作娘お光

【図書】

- 十七、『福家族』中村芝翫著 ベネッセコーポレーション 平成9年(1997)
- 十八、『芝翫芸模様』中村芝翫著 集英社 平成9年(1997)

イブニングセミナー『図書館資料保存におけるIPMのこれから』レポート

2012年7月30日18:00~20:00 日本図書館協会会館2階研修室

講師：川越 和四（イカリ消毒株式会社）

出席者：飯塚 美砂

従来、美術館、図書館での生物被害（虫、鼠、カビなど）への対処として考えられてきたのは「殺滅」。被害を発見した時点であるべく迅速に、それ以上の被害を拡大させないために薬剤、薫蒸などにより、その被害の元となったものを排除するというのが基本であった。それがごく近年、駆除の方法や被害にいたる事態を未然に防ぐことに関心が向き始めている。それがIPM（Integrated Pest Management）である。農業において行われる耕種的、生物的、化学的、物理的な防除法をうまく組み合わせ、経済的被害を生じるレベル以下に害虫個体群を減少させ、かつその低いレベルを持続させる為の害虫個体群管理のシステムを指す。図書館や美術館でも害をなすものを排除したいという気持ちにはもちろん変りはないが、IPMの考えに従い、オゾン破壊や環境保全、周囲の住民からの苦情を考慮して薬剤の使用や全館薫蒸は最低限に抑える方向に向かっている。たとえば日本で最初に薫蒸庫を導入したのは正倉院だが、現在薫蒸庫は九州国立博物館で過去の遺物として“展示”される存在になっている。また土佐の絵金の屏風絵に黴が発生したため化学薬剤を使用したところ、絵の具が薬剤に反応し全面変色してしまったというような化学的措置によって美術品資料が損なわれた例もあるので、安易な化学薬剤の使用は極力避けたい。

ではどうするのか。見直されているのが昔ながらの人間の目による目視、そして虫干しといわれるような風通しと日常管理である。風も通らぬ部屋や箱にしまいこんである資料には黴が生えやすい。読まない本でもたまには持ち出して頁を繰って風を通すだけで黴の発生率は下がる。同じ書庫内でも場所により湿度温度が異なり黴の発生しやすい箇所があるので、特に換気に気をつけ場合によっては扇風機を回す。万一、黴を発見した場合はその資料を隔離する、薫蒸、アルコール消毒などの措置をした後は“カビおとし”（よく黴を払い落とす）して、再度の発生を極力防ぐ。

掃除をこまめにするとともに、そのごみの内容を分析し、そこに多く含まれる虫やほこりが入り込まないような対策を立てる（外から虫などを入れないためにドアを二重にしたり足拭きマットを置いたり。）...などがあげられた。

意外なようだが、こまめに手間をかけるのが一番、のようである。

しかし、業者や薬剤などを使わないぶん、直接的な費用はかからないが労働力は必要である。図書館でIPMを進めることは、手間がかかる＝司書のオーバーワークに直結するということになりがちで、そこは十分問題意識を共有して、分担協力を図らなくてはいけないだろう。

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）
法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社衛星劇場
株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社
松竹映画劇場株式会社
株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
財団法人 昭和池田記念財団

どうもありがとうございます